

# 農林金融 第76巻 総目次

(2023年1～12月)

- I 論調    II 情勢    III 外国事情  
IV 談話室    V 本棚

## 〈2023年テーマ〉

- 1月号 2023年経済・金融と日本農業の展望  
2月号 サステナブルな社会に向けて  
3月号 世界と日本の森林所有を巡る動向  
4月号 食料安保・環境と農業を巡る海外の動き  
5月号 組合員のニーズに応える農協の事業展開  
6月号 日本の食料安全保障とみどり戦略の課題  
7月号 自然と人間の共存を目指して  
8月号 ポストコロナの経済・市場運営の行方  
9月号 集落組織存続への対応と協同組合再考  
10月号 「海業」による地域活性化と漁協<sup>うみぎょう</sup>  
11月号 社会的な課題への対応  
12月号 TNFD提言と地域の脱炭素試行

## 〈今月の窓〉

- 1月号 20余年ぶりの基本法見直し (専務執行役員 福田 仁)  
2月号 新たなサステナビリティの潮流 (理事研究員 高島 浩)  
3月号 森林・林業の新たな時代 (代表取締役専務 柳田 茂)  
4月号 「日本の農業生産の増大」のラストチャンスか  
(常務取締役 内田多喜生)  
5月号 ニーズを見いだしそれに応える  
(リサーチ&ソリューション第1部長 重頭ユカリ)  
6月号 われわれの人的資本 (代表取締役専務 福田 仁)  
7月号 手元にあるもので凌ぐ智慧 (常務執行役員 小畑秀樹)  
8月号 財政規律を重視すべきか、それとも財政政策を  
積極的に活用すべきか (理事研究員 南 武志)  
9月号 協同組合の未来を想像してみる  
(リサーチ&ソリューション第1部長 重頭ユカリ)  
10月号 6次産業化から農山漁村発イノベーションへ  
(リサーチ&ソリューション第2部長 長谷川晃生)  
11月号 社会的課題の解決と協同組合 (特別理事研究員 齊藤由理子)  
12月号 グローバルとローカルの接合に向けて (理事研究員 高島 浩)

## I 論 調

## 2023年の国内経済金融の展望

——物価高、世界経済の失速が日本経済を下押し——	南 武志	1	(2)
日本の農業情勢の回顧と課題	内田多喜生	1	(15)
農業セクターの脱炭素化と金融に関する論点整理			
——文献レビューによるアプローチ——	高山航希	2	(2)
自然資本・生物多様性をめぐるビジネスセクターの最前線			
——生物多様性条約COP15の成果とTNFDの動向——			
椀間周一郎・藤田研二郎	2	(18)	
海外森林投資の現状とこれから	安藤範親	3	(2)
中央日本の中山間地域における森林所有の実態			
——森林組合員に対するアンケート調査を事例として——	多田忠義	3	(16)
大豆増産政策に転じた中国			
——のしかかる米中対立と食料安全保障——	阮 蔚 (Ruan Wei)	4	(2)
EU環境・気候戦略の進展と農業	平澤明彦	4	(19)
特性を活かした農協信用事業の展開	斉藤由理子	5	(2)
第三者継承支援における農協の役割	長谷 祐	5	(17)
肥料をめぐる動向と今日的課題	小針美和	5	(30)
世界の情勢変化と日本の食料安全保障			
——パンデミックとウクライナ紛争を踏まえて——	平澤明彦	6	(2)
現場で動きだす「みどり戦略」			
——都道府県の「基本計画」に着目して——	石田一喜	6	(29)
バイオエコノミーという概念、欧米の戦略、日本への期待	藤島義之	7	(2)
農業分野における災害時の協力体制構築に関する提案	野場隆汰	7	(20)
コロナ禍以降のマクロ経済における注目点			
——マクロ経済レジームと債務の安定性について——	佐古佳史	8	(2)
2020年の規制導入以降の中国における不動産関連貸出の変化と影響			
——6大銀行の不動産関連貸出を中心に——	王 雷軒 (Wang Leixuan)	8	(15)

農家の高齢化・減少に集落組織はどう対応するか		
——集落組織の農を核にした地域住民との連携——	齊藤由理子	9 (2)
経済学の見直しと協同組合への示唆		
——規律と創発への着目——	小野澤康晴	9 (21)
協同組合主義再考		
——古くて新しいもの——	明田 作	9 (40)
漁協における事業多角化の意義と課題		
——第3期浜プランでの「海業」への対応を念頭に——	大分大学経済学部准教授 亀岡鈺平	10 (2)
漁協の事業多角化にあたってのリーダーの意識と行動	尾中謙治	10 (22)
欧州におけるソーシャルタクソノミーをめぐる議論		
——ソーシャルバンクからの論点提起を中心に——	重頭ユカリ	11 (2)
農村の援農における交流の意義と農協の役割		
——JAふじ伊豆、JAにしうわ、JAいしかりを対象に——	佐藤彩生	11 (18)
動き出した自然関連財務情報開示		
——TNFDフレームワークの解説とビジネスセクターにおける論点——	梶間周一郎	12 (2)
持続的なバイオ炭の農地施用に向けて		
——地域課題解決を起点に——	石塚修敬・河原林孝由基	12 (24)

## Ⅱ 情 勢

2000年以降の食卓の変化 .....	古江晋也… 4	(48)
家計における加工食品の購入額の変化 .....	古江晋也… 8	(34)
森林経営管理制度の進捗状況と林地流動化の現状 ——第35回森林組合アンケート調査結果から—— .....	安藤範親…10	(38)

## Ⅲ 外国事情

中国供銷合作社をめぐる動向 .....	若林剛志・陳 曉楠 (Chen Xiaonan) ・… 6	(52)
	余 勁 (Yu Jin) ・蔡 嘉儀 (Cai Jiayi) ・	
	李 東建 (Li Dongjian) ・	
	王 雷軒 (Wang Leixuan)	

## IV 談話室

持続可能な農林水産業の構築と食料安全保障に向けて ——弊社の今年のテーマ—— …… (株) 農林中金総合研究所 代表取締役社長 川島憲治… 1	(34)
地球・社会の持続可能性と時間軸の悲劇 …………… (株) 日本総合研究所 常務理事 足達英一郎… 2	(34)
甦れ！日本の森林 …… 全国森林組合連合会 代表理事専務 富山 洋… 3	(38)
「カーボンニュートラル」と地方自治体の対応 …………… 東京農業大学 名誉教授 立岩寿一… 4	(60)
我が家の雑煮に込められた思い …………… 北海道信用農業協同組合連合会 代表理事理事長 安友 薫… 5	(50)
みどり戦略とJAグループ …… (株) 農林中金総合研究所 客員研究員 薦谷栄一… 6	(50)
教育で気候変動と戦う：30年目の決断 …………… 東京大学 大学院農学生命科学研究科 教授 五十嵐圭日子… 7	(32)
金融行政とデータ …………… (株) 農林中金総合研究所 エグゼクティブ・アドバイザー 森田宗男… 8	(46)
JAに対して人的資本投資の可視化を求める意見に思うこと …………… 一般社団法人 日本協同組合連携機構 常務理事 藤井晶啓… 9	(54)
漁業との調和による「 <sup>うみぎょう</sup> 海業」の取組みと浜プラン …………… 全国漁業協同組合連合会 浜再生推進部 部長 木山真一… 10	(46)
サステナブルな地域社会の構築に向けて ——改めて「FEC自給圏」を考える—— …………… (株) 農林中金総合研究所 取締役会長 大竹和彦… 11	(36)
将来の農業とその担い手は？ …… 九州大学 名誉教授 村田 武… 12	(40)

## V 本 棚

両角和夫 著

『合併からネットワークへ —— 「農協改革」の課題——』…………… 斉藤由理子… 5 (49)

ポール・ポルマン、アンドリュー・ウィンストン 著

『Net Positive ネットポジティブ —— 「与える>奪う」で地球に貢献する会社——』  
…………… 小畑秀樹… 6 (67)

生源寺眞一 編著

『21世紀の農学 —— 持続可能性への挑戦——』…………… 小針美和… 8 (45)

河原林孝由基・村田 武 著

『窒素過剰問題とドイツの有機農業』…………… 茨城大学 名誉教授 中島紀一… 9 (56)

玉真之介 著

『新潟県木崎村小作争議：百年目の真実』…………… 清水徹朗… 10 (48)